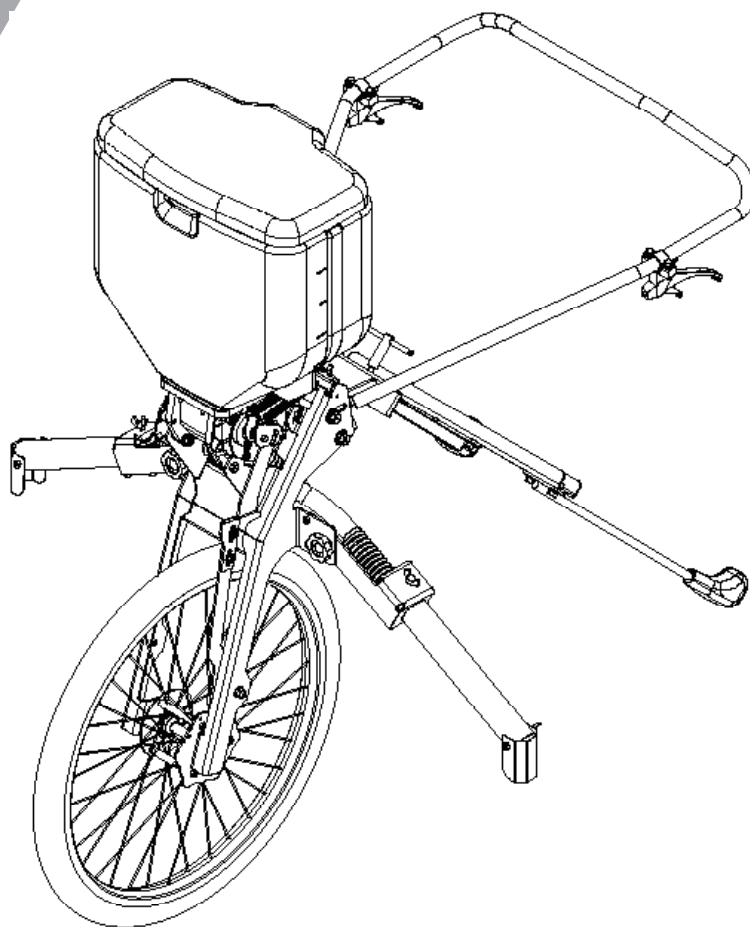


使用する前に必ずよく読んで正しく使いましょう

みゆ 高畝用追肥機

AN-5A



取扱説明書



みゆ 産業株式会社

はじめに

- このたびは、本機をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- 本機は、粒状肥料をほ場に散布するための機械です。
- ご使用される前には本書を必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上の観点から、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容及びイラストなどの一部が本機と一致しない場合もありますが、ご了承ください。
- ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- 本書では、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について次のように表示しています。

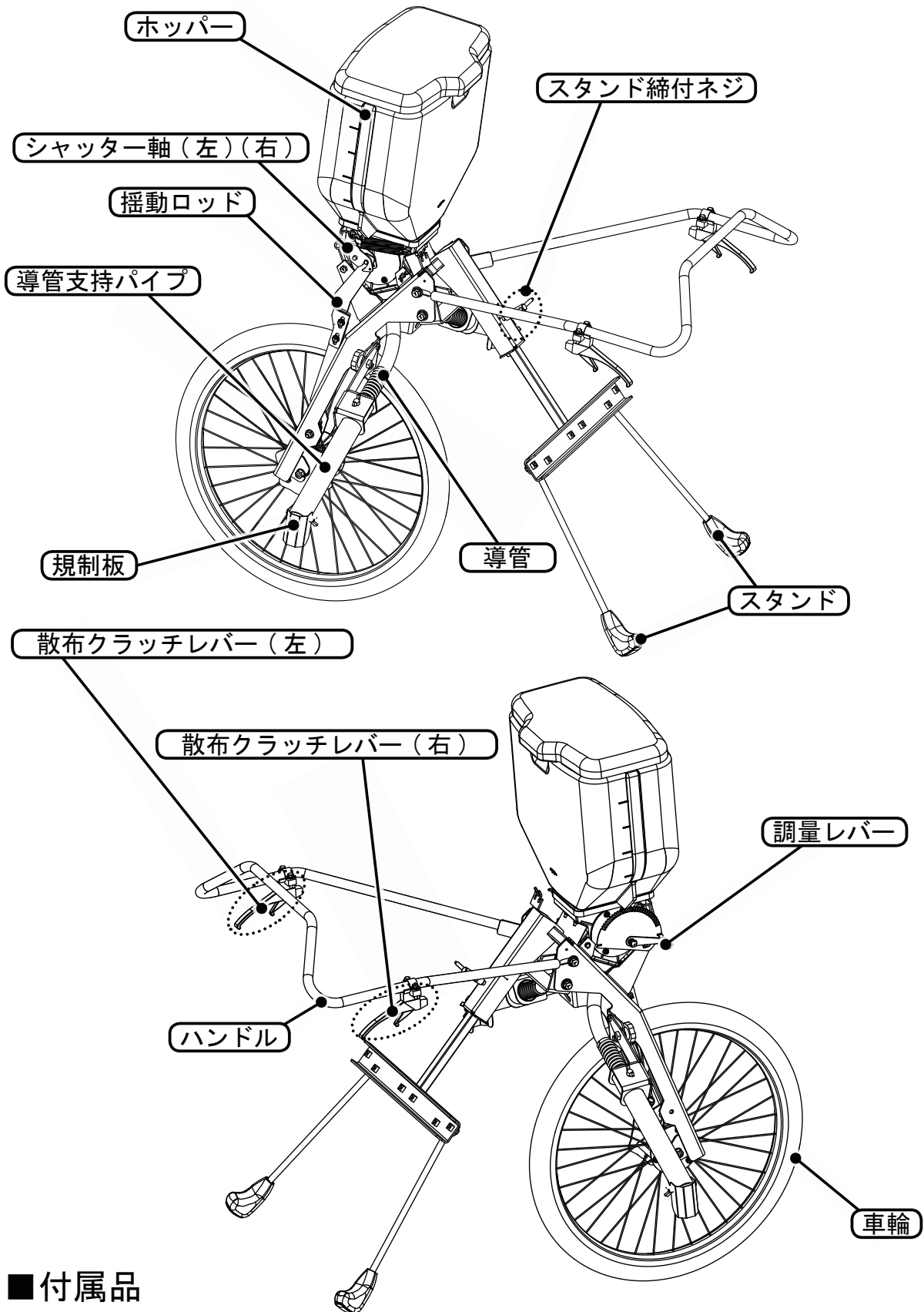
表示	重要度
 注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものを示しています。
 重要	この項目に従わなかった場合、物的損害をこうむる恐れのあるものを示しています。 また、商品の性能を発揮させるための注意事項を説明しています。よく読んで商品の性能を最大限発揮してご使用ください。

目次

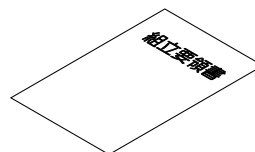
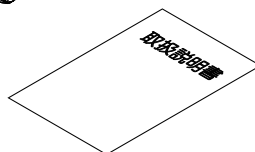
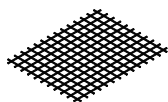
各部の名称	1	作業後の洗浄・保管	7
付属品	1	各部の洗浄	7
各部のはたらき	2	保管方法	7
安全に作業をするために	5	点検・整備	8
作業前の準備	6	シャッター軸の点検・注油	8
使用可能な肥料について	6	揺動ロッドカラーの注油	8
肥料の供給	6	不調時の処置	8
注油箇所の点検	6	サービス資料	9
機械の調節	6	商品の保証	9
作業のしかた	7	サービスネット	9
肥料の散布	7	補修用部品供給期間	9
		主要諸元	9

保証書 裏表紙

各部の名称



■ 付属品



施肥タンク金網、取扱説明書(本書)、組立要領書

各部のはたらき

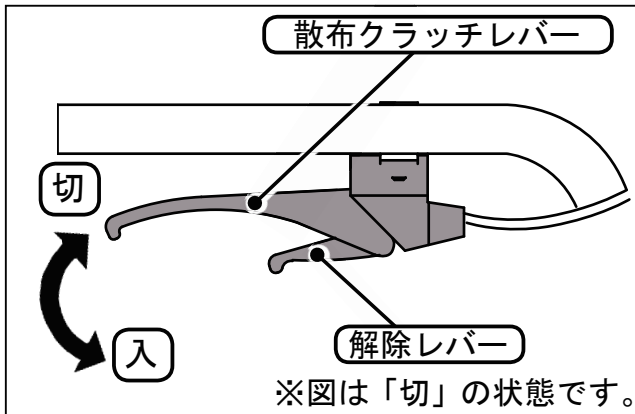
■散布クラッチレバー（左）・（右）

散布クラッチレバーを操作すると、ホッパーの内部にあるシャッターが開閉します。

左右の散布に対して、それぞれ操作ができます。

「切」・・・肥料を散布できません。

「入」・・・肥料を散布できます。



重要

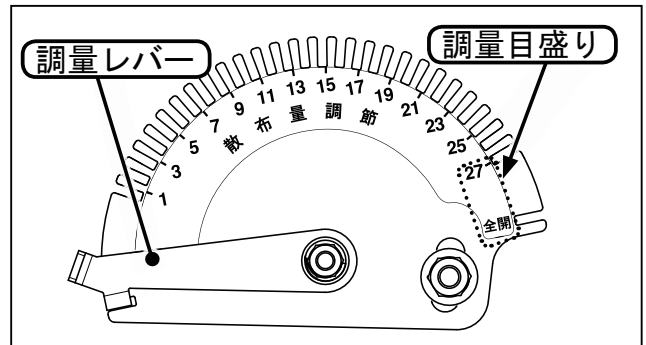
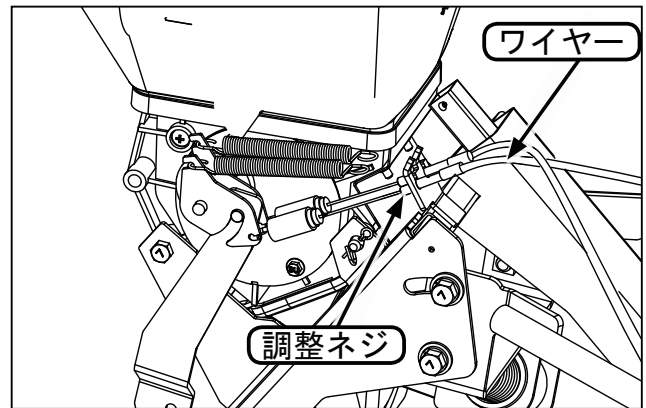
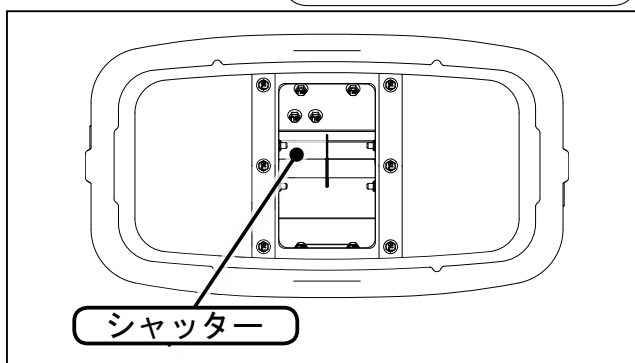
散布クラッチレバーを一杯まで握れば「切」になり、解除レバーを握れば「入」になります。

■ワイヤー

シャッターの調節をします。

散布クラッチレバーを「切」にしたとき、シャッターが完全に閉じない場合は、調整ネジでワイヤーを調節し、シャッターが完全に閉じるようにします。このとき、調量レバーを「全開」から「27」の目盛まで動かし、シャッターが動くことを確認してください。

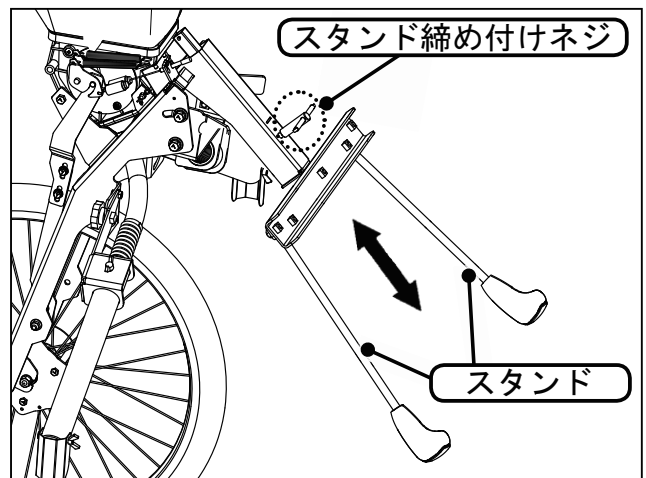
工具 10mm × 2



■スタンド

機械を地面に置くとき、使用します。スタンド締め付けネジをゆるめて、作業しやすく、畝に接触しない高さに調節してください。調節後は、ネジを確実に締めつけてください。


肥料供給時は、スタンドを短くして、タンクを下げると作業が楽になります。

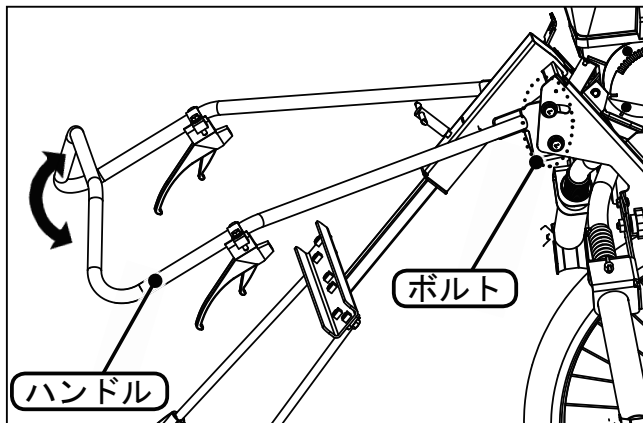


各部のはたらき

■ハンドル

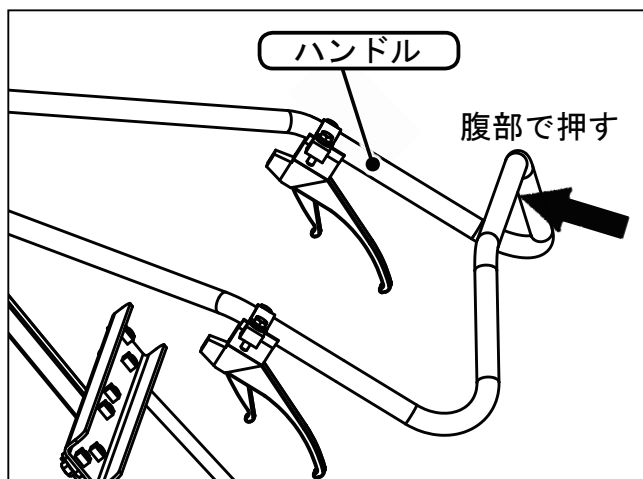
作業時に両手で持ち、機体を支えます。ボルト（左右4ヶ所）をゆるめて、作業しやすい高さに調節します。調節後は、ボルトを確実に締め付けてください。

工具  14  × 1



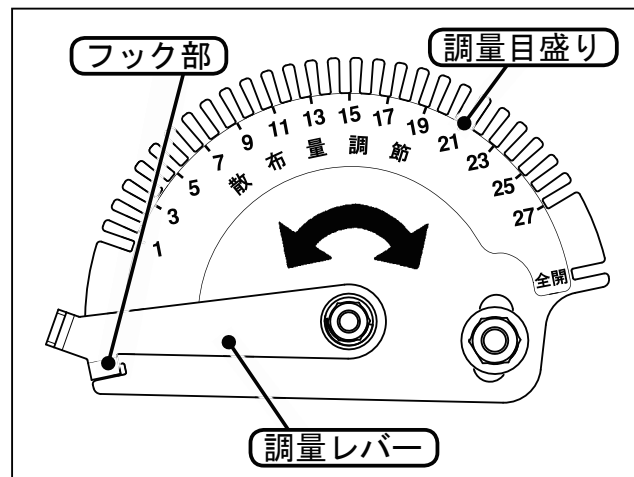
■ハンドルのアーチ部

作業時に腹部で押して機械を前進させます。使用することで腕の疲労軽減につながります。また、障害物等で腕の力のみでの前進が困難な場合に有効です。



■調量レバー

調量レバーを回し、希望の調量目盛位置にフック部を引っ掛け、肥料の散布量を調節します。調量目盛と散布量の目安は（表1）に示します。

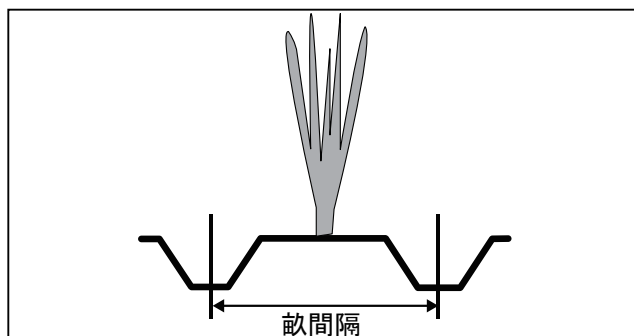


（表1）調量目盛りと両側散布量の目安

調量目盛り	散布量 (kg/10a)
1	16
3	27
5	31
7	39
9	47
11	51
13	54
15	58
17	63
19	66
21	70
23	73
25	76
27	79

※表は、下記条件での散布量の目安です。

1. 畝間隔：130 cm
2. 肥料の比重：1.0g/cm³
3. 歩行速度：0.9m/s



重要

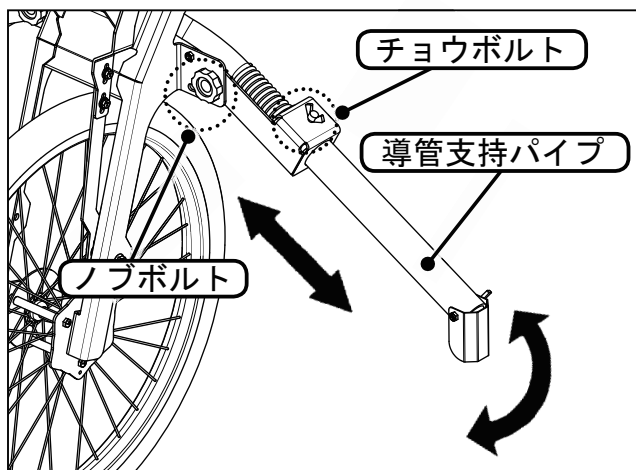
（表1）の散布量はあくまで目安です。畝間隔、肥料の比重、歩く速度、ほ場の条件等により散布量は大きく変わります。散布量を確認しながら作業してください。

各部のはたらき

■導管支持パイプ

肥料の散布幅、散布位置を設定します。

チョウボルト、ノブボルトをゆるめ、角度・長さを調節してください。調節後、導管支持パイプが動かないよう、チョウボルト、ノブボルトを締め付けてください。



重要

チョウボルトを締め付けすぎると導管支持パイプが破損するおそれがあります。注意してください。

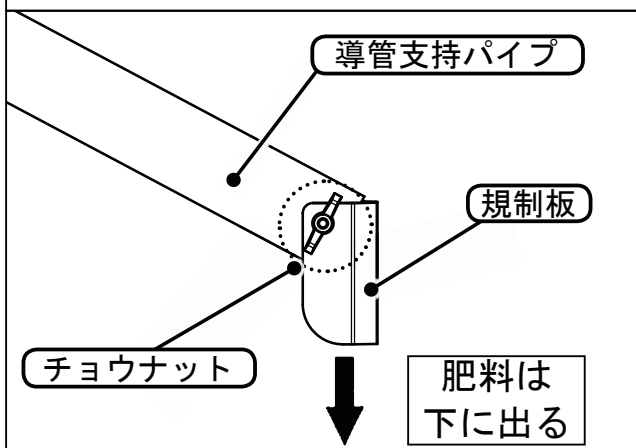
■規制板

肥料の落ちる向きを設定します。

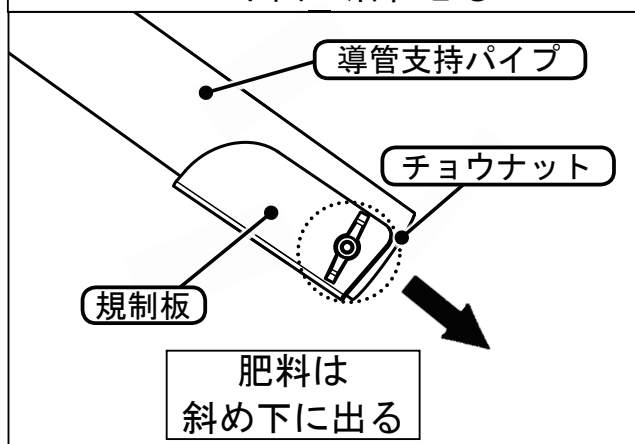
チョウナットをゆるめ、角度を調節してください。

調節後、規制板が動かないよう、チョウナットを締め付けてください。

使用例 1：規制板を下へ向ける



使用例 2：規制板を導管支持パイプ下面に沿わせる



重要

チョウナットを締め付けすぎると導管支持パイプが破損するおそれがあります。注意してください。

安全に作業をするために

本機の安全に係わる特性を、以下に記述します。内容を十分に理解されたうえで、安全に作業してください。

■使用する前に

●「取扱説明書」をよく読んで

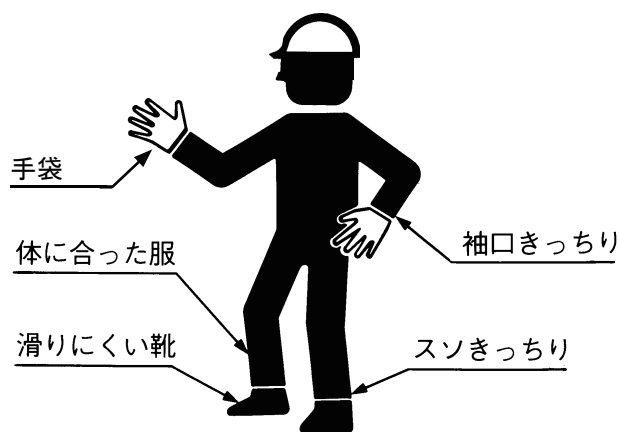
本機を使用する前に必ず、本書および本機に貼ってある安全表示ラベルをよく読み、理解したうえで作業してください。

●他人が本機を使うときは

本機を他人に貸すとき、また他人に作業を依頼するときは、取扱方法をよく説明し、本書を熟読するように指導してください。

●作業時の服装

作業するときは、だぶついた衣服を着用しないでください。回転部に引っかかり事故の原因になります。安全靴、や手袋等を使用してください。



■作業を開始する前に

●作業前点検

作業する前に、各部の点検・注油を行なってください。

■作業時は

●作業時は、周りの人に注意

作業中は、作業員以外の人には本機に近づかないでください。傷害事故を引き起こす恐れがあり危険です。

●作業開始時は声をかけあって

作業を開始するときは、周囲の安全を十分確認してください。特に補助者とともに作業するときは、声をかけあって安全を確認してください。怠ると傷害事故の原因となり危険です。

■作業が終わったときは

●肥料を排出し、洗浄する

作業が終わったらその日のうちにホッパー内に残った肥料を排出し、肥料を洗い流し、乾燥させてください。また、機械に付着した肥料や土は、作業後速やかに洗浄してください。怠ると機械の錆や故障原因となるおそれがあります。

■点検・整備時は

●点検・整備は、適正な工具で

点検・整備を行なうときは、適正な工具を正しく使用してください。間に合わせの工具で行なうと、整備中の事故や整備不良による思わぬ事故を引き起こす恐れがあり大変危険です。

●本機の改造は禁止

本書記載以外の部品の取り付けや改造は、絶対にしないでください。本機の故障の原因になるばかりでなく、思わぬ事故の原因となり大変危険です。

■格納・保管時は

●機械のお手入れ

機械をよく洗浄して乾燥させ、錆防止を行ってください。

●格納・保管方法

平たん広く直射日光の当たらない場所で格納・保管してください。狭い場所に保管していると思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

作業前の準備

■使用可能な肥料について

- 必ず、粒状肥料を使用してください。粉状肥料は使用できません。
- 肥料の取り扱いについては、肥料メーカーの指示に従って、その都度正しく対処してください。
- 下記の点に注意して肥料を選択してください。誤ると肥料詰まり、散布ムラが起りやすくなります。

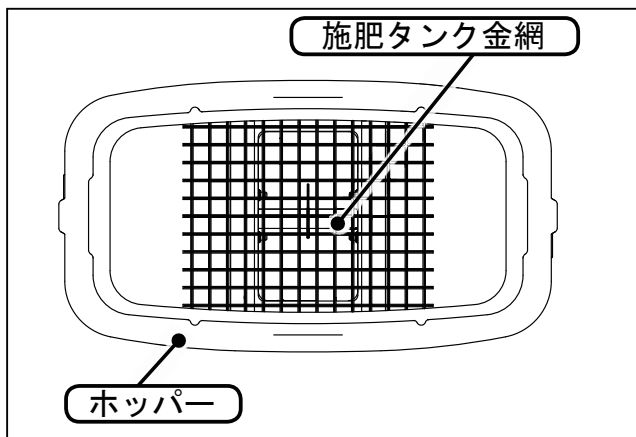
- ①大きさが2～4mmで粒が揃っていること。
- ②粉分が少ないこと。
- ③湿り気がある（握り締めると固まる）場合は、水分を飛ばして使用すること。
- ④肥料に塊がある場合は、崩してから使用すること。
- ⑤必ず施肥タンク金網を使用すること。
- ⑥新しい肥料を使用すること。

■肥料の供給

⚠注意

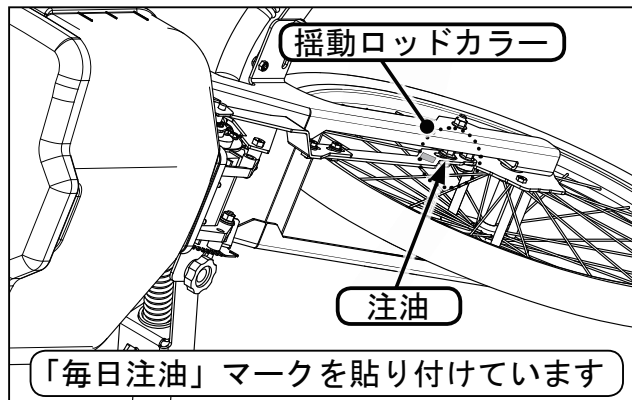
肥料の供給をするときは、平坦な場所でスタンドを下ろし、機械がぐらつかない状態で行なってください。また、スタンドはできるだけ低くしてください。これを守らないと機械が転倒したり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

- ①散布クラッチレバーを「切」にします。
- ②ホッパーの蓋を外し、施肥タンク金網をホッパー底部にセットします。
- ③ホッパーに肥料を供給します。

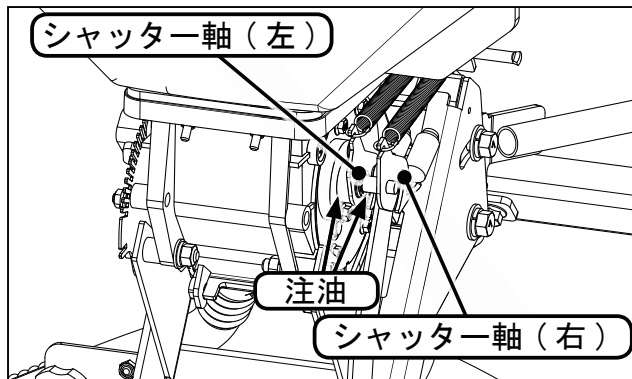


■注油箇所の点検

- ご使用前に毎回注油してください。
 - ・揺動ロッドカラー

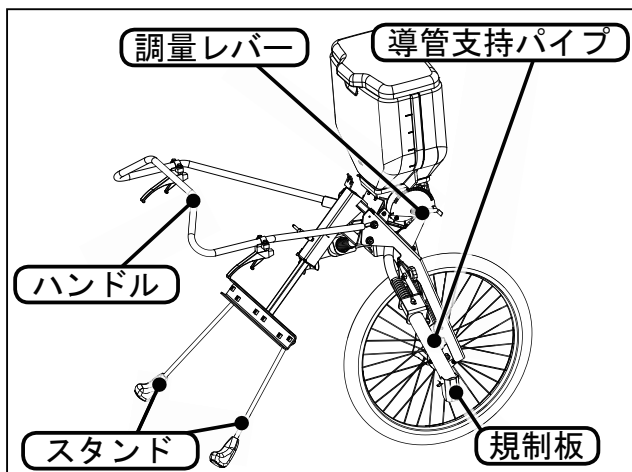


- ご使用前に点検し、必要に応じてオイルスプレーを注油してください。
 - ・シャッター軸（左）（右）の根元



■機械の調節

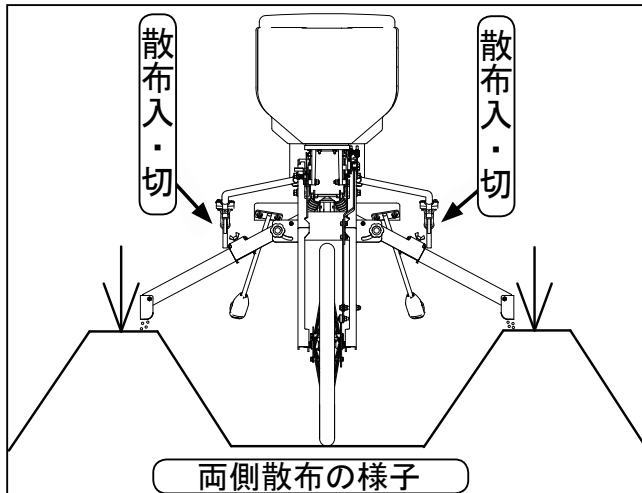
- ①スタンド、ハンドルを作業しやすい位置に調節してください。(2～3ページ参照)
- ②導管支持パイプの長さ、角度および規制板の角度をほ場条件に合わせて調節してください。(4ページ参照)
- ③調量レバーで肥料の散布量を調節してください。(3ページ参照)



作業のしかた

■肥料の散布

- ① ハンドルを持ち、機械をしっかり支持します。
- ② 肥料散布開始地点より、50cmほど手前から走行を開始します。
- ③ 肥料散布開始地点が来たら、散布クラッチレバーを「入」にして散布を始めます。
- ④ 肥料散布終了地点が来たら、散布クラッチレバーを「切」にして散布を止めます。



重要

- ① 散布クラッチレバーは、左右独立しています。両側散布の場合は、左右両方の散布クラッチレバーを「入」にしてください。片側散布の場合は、散布する側の散布クラッチレバーのみを「入」にしてください。
- ② 走行をやめても、散布クラッチレバーが「入」になっている場合は、肥料が出続けます。散布クラッチレバーを「切」にして止めてください。
- ③ 散布クラッチレバーを「切」にした後に、導管などに残った肥料が少量落ちますが、故障ではありません。

作業後の洗浄・保管

■各部の洗浄

- ① 作業後、その日のうちにホッパー内に残った肥料を導管より排出し、肥料を洗浄してください。
肥料の排出はシャッターを全開にすると手早く行なえます。排出の勢いが悪い時は、前進または後進するとシャッターの開き量が調節され、勢いよく排出することができます。
- ② 機械に付着した肥料や泥砂は、作業後速やかに洗浄してください。

重要

作業後は機械をよく洗浄してください。肥料や泥砂が付着したままだと錆や不調の原因になります。

■保管方法

- 平坦で広く直射日光に当たらない場所で保管してください。
- 散布クラッチレバーは「入」にしてください。(ワイヤーの伸び防止のため)
- カバーなどでホコリがつかないようにしてください。
- ホッパー内に残った肥料を排出しておいてください。(機械の故障防止のため)
- 機械をよく洗浄して乾燥させ、錆防止を行ってください。

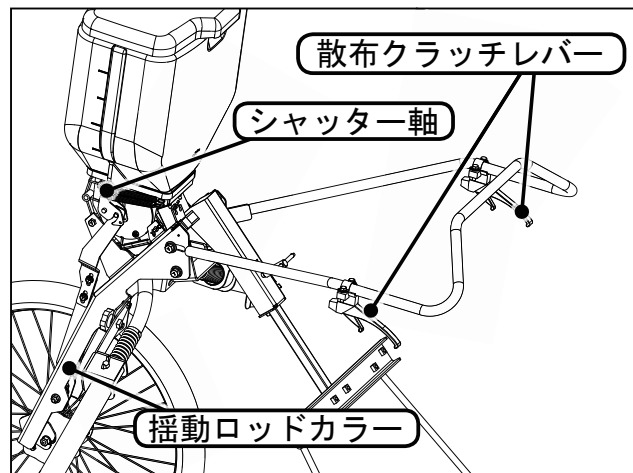
点検・整備

■シャッター軸の点検・注油

- 散布クラッチレバーを「入」・「切」して、正常にシャッターの開閉ができるか確認してください。
- 散布クラッチレバーを「入」にして、走行時に正常にシャッターが開閉するか、シャッター軸が動作するかを確認します。シャッターが完全に閉じないときは、調整ネジでワイヤーを調節してください。(2 ページ参照)
シャッター軸の動きが悪い時は、注油してください。(6 ページ参照)

■揺動ロッドカラーの注油

- 揺動ロッドカラーには、ご使用前に毎回注油してください。(6 ページ参照)



不調時の処置

不調内容	原因	処置	参照ページ
肥料が散布できない	粉状肥料を使用している。	粒状肥料を使用してください。	6
	肥料が湿っている。	肥料を乾燥させてください。	6
	肥料に塊があり、詰まっている。	肥料の塊を砕いてください。	6
	散布クラッチレバーが「切」になっている。	散布クラッチレバーを「入」にしてください。	2
肥料が漏れ続ける	シャッターが閉じきっていない。	ワイヤーを調節してください。	2
左右の散布量が異なる	シャッター軸の油切れ。	シャッター軸に注油してください。	6
シャッター軸の動きが悪い	シャッター軸の油切れ。	シャッター軸に注油してください。	6
揺動ロッド部から擦れ音	揺動ロッドカラー部の油切れ。	揺動ロッドカラーに注油してください。	6
使用中に散布量が減少する	揺動ロッドカラー部の油切れ。	揺動ロッドカラーに注油してください。	6
走行が止まる	車輪に土、草などの異物が噛み込んでいる。	異物を取り除く。	-

サービス資料

■商品の保証

本機には、保証書が添付されています。
詳細は保証書をご覧ください。

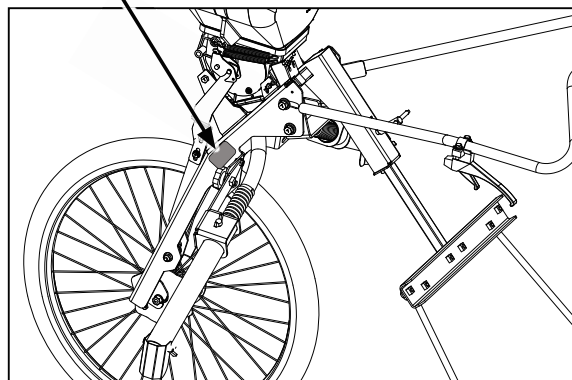
■サービスネット

ご使用中の故障や不審な点およびサービスに関するご用命は、販売店にお気軽にご相談ください。
その際、型式名、製造番号をあわせてご連絡ください。

■補修用部品供給期間

本機の補修用部品の供給期間は、製造打ち切り後9年といたします。ただし、供給期間内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

型式名・製造番号記載位置



農機具の種類	高畝用追肥機
型式名	AN-5A
製造番号	※※※※※
製造会社名	みのる産業株式会社

■主要諸元

名 称		高畝用追肥機
型 式		AN-5A
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1160
	全 幅 (mm)	660 ~ 1164
	全 高 (mm)	1275
	重 量 (kg)	17
車 輪		外径 600 mm × 幅 40mm
適 応 肥 料		粒状肥料
ホ ッ パ ー 容 量 (L)		28
散 布 方 式		1条または2条 条まき
散 布 量 調 節		シャッター開閉量調節
散 布 入 切		手元レバー操作 (左右別動作)
散 布 量 調 節 範 囲 (kg/10a)		17 ~ 77
散 布 幅 (条まき) (cm)		5 ~ 104
適 応 畝 高 さ (cm)		35 以下

※仕様は予告なく変更する場合があります。

保証規定

- 保証期間内（お買上げ日より1ヶ年）に正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。
 - 取扱説明書の注意事項を守らなかった場合
 - 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷
 - ご購入時に、「お買上げ日」「販売店名」が未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 消耗部品

 **みのる産業株式会社**

保証書

※ 本書は再発行しませんので大切に保存してください。

保証期間	1ヶ年
お買上げ日	年 月 日
お客様	ご住所
〒	TEL
ご芳名	様

販売店	住所
店名	印
	TEL

みのる産業株式会社

本社工場 〒 709-0892 岡山県赤磐市下市 447
TEL(086)955-1123 (代) FAX(086)955-5520

東京支店 〒 337-0042 埼玉県さいたま市見沼区南中野 210
TEL(048)683-9451 (代) FAX(048)683-9452

長野営業所 〒 389-1104 長野県長野市豊野町浅野 582-4
TEL(026)257-6530 (代) FAX(026)257-6531

徳島営業所 〒 771-1151 徳島県徳島市応神町古川字東 197
TEL(088)641-2311 (代) FAX(088)641-2324

九州支店 〒 818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡 1020-1
TEL(092)921-6006 (代) FAX(092)921-6008

ホームページ <https://www.minoru-sangyo.co.jp/>